

資料室便り

交通専門図書館
交通経済研究所資料室

交通経済研究所資料室で収集・保管している資料をご紹介します。交通に関心のある本誌読者のみなさまの一助となれば幸いです。

新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）

『インバウンド・ルネッサンス 日本再生』

池上重輔編著，早稲田大学インバウンド・ビジネス戦略研究会著／日経BP日本経済新聞出版本部発行／2021年11月／四六判／516ページ／3,850円（税込）

本書は、観光とマーケティングの研究者や実務家が、インバウンド・アウトバウンド・ループ (IOL) の解説と事例紹介をするとともに、アフターコロナ時代の重要なテーマやツーリズム・リーダーの育成について論じたものである。国際観光は重要な産業であるが、日本ではインバウンドの比率は低く、コロナ収束後に向け、持続可能なインバウンド戦略の策定と実行が必要である。インバウンドとアウトバウンドが循環して発展する枠組みである IOL の視点で各種事例を分析すると、経験価値化、地域連携、高付加価値・高価格化の手法の検討と活用などが求められていることが分かる。また、アフターコロナ時代に向け、需要創造や富裕層への対応、日本の持続可能な観光に必要なツーリズム・リーダーの育成などが必要である。

目次：持続可能な成長・発展戦略モデル：インバウンド・アウトバウンド・ループ (IOL) / アフターコロナ時代の「観光立国日本」の重要テーマ / 持続可能なインバウンド・ツーリズムに向けた人材育成 / ほか 古森□

『城端線&氷見線 わが列車わが鉄道』

—未来をひらく交通まちづくり』

富山新聞社報道局編／富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科監修／北國新聞社発行／2021年10月／四六判／192ページ／1,650円（税込）

本書は、JR 城端線・氷見線の沿線住民や富山大学などへの取材をもとに、富山新聞に連載した記事を中心に構成されている。取材した宮本記者は、「富山県鉄道発祥の地」である城端線戸出駅を主役として都市経営を考えることで、人口減少に直面する沿線が活性化するという。地域の歴史は宝であり、呪縛としてはならないという考えのもと、若い世代の自由な発想を紹介し、あわせてパターンダイヤや高床式 LRT などさまざまな国内外の事例を示している。

目次：始まりの戸出駅 / 福井にヒント / ラクダとロバ / 富大の力 / 時代を追い越せ / 中越鉄道の記憶 / データで見る交通まちづくり教室 / ほか 田邊□

新着情報（2021年12月分）

*資料室で入手した主要図書をお伝えします。

記事の構成：書名、編著者名、発行所、発行年月

<和 書>

- 1 国土交通関係公益法人等要覧 令和3年版 運輸総合研究所，建設広報協会 同法人 2021年12月
- 2 関西交通経済ポケットブック 2021年版 国土交通省近畿運輸局，ほか監修 関西交通経済研究センター 2021年12月
- 3 エネルギー白書 2021年版 経済産業省編 日経印刷 2021年12月

- 4 JTB REPORT2021——日本人海外旅行のすべて JTB 監修, JTB 総合研究所編 同社 2021年10月
 - 5 観光列車の経済学的研究——地方鉄道の維持振興と地域活性化に向けて 藤田知也 大阪公立大学共同出版会 2021年10月
 - 6 城端線&氷見線 わが列車わが鉄路——未来をひらく交通まちづくり 富山新聞社報道局編, 富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科監修 北國新聞社 2021年10月
 - 7 鉄道六法 令和3年版 国土交通省鉄道局監修 第一法規 2021年12月
 - 8 自動車年鑑 2021-2022年版 日刊自動車新聞社, 日本自動車会議所編 同社 2021年11月
 - 9 モビリティ・ゼロ——脱炭素時代の自動車ビジネス 深尾三四郎 日経BP 2021年10月
 - 10 注解自動車六法 令和3年版 国土交通省自動車局監修 第一法規 2021年12月
 - 11 航空運賃の歴史と現況 杉江弘 戎光祥出版 2021年12月
- <外国書>
- 12 Big Data and Mobility as a Service Haoran Zhang, Xuan Song, ほか編 Elsevier 2022年
 - 13 Benchmarking and Regulation in Transport——European Perspectives Chris Nash, Ginevra Bruzzone 編 Edward Elgar 2021年
 - 14 World Tourism Cities——A Systematic Approach to Urban Tourism Alastair M. Morrison, Cristina Maxim Routledge 2022年
 - 15 Strategy and Managed Decline——London Transport 1948-87 James Fowler Emerald Publishing 2021年
 - 16 U-Bahn, S-Bahn & Tram in München——Städtischer Schienennahverkehr in der bayerischen Landeshauptstadt Wolfgang Wellige Robert Schwandl 2021年
 - 17 109年台湾鐵路年鑑 (Taiwan Railway Annual Report 2020) 交通部台湾鐵路管理局編 同部 2021年6月

書庫のなかから (所蔵資料の紹介)

『創業二十年史』

東京市電気局／1931年5月

都電を運営する東京都交通局は、その前身である東京市電気局の時代から約10年ごとに年史を公刊している。最初の年史は『東京市電気局十年略史』(1921年)で、「略史」とあるように1年ごとの出来事をまとめた程度の簡単なものだったが、本書ではテーマごとに推移をたどる標準的な年史となっている。民営だった馬車鉄道の時代から電化を経て市有化、さらなる路線網の拡充に至る過程と、明治から昭和初期にかけての東京市内交通や二次交通の様子をうかがい知ることができる。また、東京市電は1923年に発生した関東大震災で致命的な大損害を受けているが、その被害状況と復旧・復興への道のりについても多くの紙幅を割いている。 原□□

交通経済研究所資料室のご案内

交通経済研究所では、所蔵資料の一部を公開しています。どうぞご利用ください。

一般財団法人 交通経済研究所 資料室
 住所：東京都台東区上野7-1-1 (〒110-0005)
 電話：03-3841-4165/FAX：03-3841-4859
 電子メール：Library@itej.or.jp
 ホームページ：https://www.itej.or.jp
 最寄駅：JR/東京メトロ上野駅から徒歩3分



検索ページ

*「蔵書オンライン検索」を公開しています。交通を中心とした図書・雑誌が検索できます。利用したい図書・雑誌がありましたらご相談ください。

担当：土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳